

文化財 千代田町の 歴史散策



五輪塔へ国指定重要文化財

千代田町教育委員会



① 銅五種鈴

国指定重要文化財 赤岩・光恩寺(平成19年6月8日指定)

「銅五種鈴」は、鎌倉時代の作品と推定される高さ約20cmの銅製の鈴で、密教法具として使われる、宝珠鈴、宝塔鈴、五鈴鈴、三鈴鈴、独鈴鈴の五種類がまとまって残っている数少ない貴重な文化財です。※町民プラザにレプリカを展示しております。



② 地蔵菩薩 画像板碑

県指定重要文化財 赤岩・光恩寺(昭和52年9月20日指定)

文永8年(1271年)の製作で、画像板碑としては最古に属するものです。俗に、弘法大師「爪引き地蔵」の愛称で親しまれ、人々の信仰を集めています。当地方の歴史を考えるうえで欠くことのできない資料であり、鎌倉時代の石造美術品としても貴重なものであります。当地方の歴史を語る貴重なものです。



③ 阿弥陀三尊像

県指定重要文化財 赤岩・光恩寺(昭和52年9月20日指定)

「阿弥陀三尊像」は、阿弥陀如来とその左右に脇侍する観音・勢至の両菩薩は、鎌倉時代初期の代表的作品で、豊麗な姿であらわされ、北関東における定型様式を伝える阿弥陀如来像と、宋朝風の脇侍は、貴重な三尊像です。

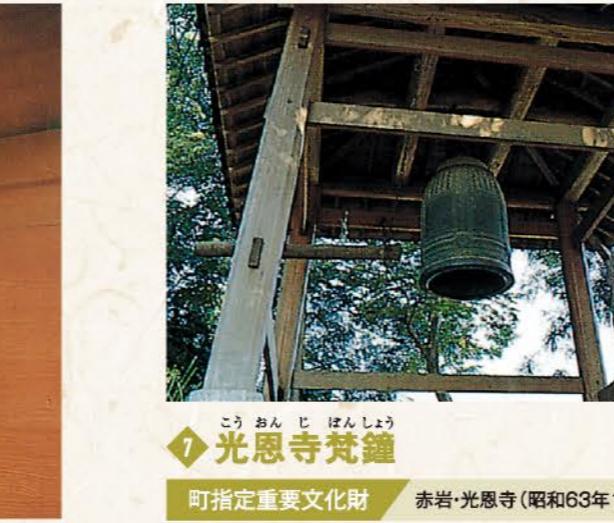


④ 實林寺黄檗宗彫像群

県指定重要文化財 新福寺・實林寺(令和4年3月18日指定)

現在は實林寺に伝わる8軸の彫像ですが、元々は館林市広濟町(現朝日町)に所在し、江戸幕府5代將軍徳川綱吉が館林藩主の時に創建された廣濟寺に安置されていました。天和3年に館林城が廢城になると共に廣濟寺も廃寺となり、その際、寺の什宝が實林寺に移されました。

いずれも、中国から来日した隱元隆琦を開祖とする黄檗宗寺院で盛んに作られた像容を示し、その大半が運慶の流れを汲む京都・七条仏所の正統仏師である康祐の作と推定されており、大本山(萬福寺)と同等の彫像群です。



⑤ 東光寺木造仁王像

町指定重要文化財 木崎・東光寺(昭和59年9月11日指定)

松材製寄木造り、差し首、玉眼(水晶)嵌入の彩色像で、造像年代は17世紀後半から18世紀初期頃と推定されます。非凡な技法と独特の表現が各所に見られる優れた仁王像です。



⑥ 實林寺梵鐘

町指定重要文化財 新福寺・實林寺(昭和63年1月30日指定)

國の重要美術品とされた名鐘で、鐘座に金剛界五仏の種子を配し、乳の間には、梵字百字真言が見事に鋲出されています。



⑦ 光恩寺梵鐘

町指定重要文化財 赤岩・光恩寺(昭和63年1月30日指定)

国の重要美術品とされた名鐘で、鐘座に金剛界五仏の種子を配し、乳の間には、梵字百字真言が見事に鋲出されています。

⑧ 潮音禪師肖像画

町指定重要文化財 新福寺・實林寺(令和4年3月23日指定)

江戸時代前期に館林を中心に活躍した黄檗宗の高僧・潮音道海を描いた禪師肖像画、いわゆる頂相です。

斜め向きを主体とする中世臨済禪の頂相形式とは異なり、黄檗禪に特有の正面向きの形式をとっており、画面左下に捺された白文方印と朱文方印により、作は黄檗宗内多くの肖像画制作に携わった喜多元規であることが分かります。



⑨ 白衣觀音圖

町指定重要文化財 新福寺・實林寺(令和4年3月23日指定)

實生寺の楓は、高さが約8m、目通り周が約2.65mで推定樹齢は平成30年の調査時点で500年(室町時代後期頃)とされるイヌマキです。

それ以前の伝承については不明で、墨書銘では作者を「兆殿司」すなわち東福寺の画僧・吉山明兆の筆としているが、筆致は異なるが、14世紀前半から中葉頃の鎌倉時代の作です。

⑩ 實生寺 楓

町指定天然記念物 濑戸井・實生寺(令和4年3月23日指定)

實生寺の楓は、高さが約8m、目通り周が約2.65mで推定樹齢は平成30年の調査時点で500年(室町時代後期頃)とされるイヌマキです。

イヌマキは、南関東以西の本州、四国、九州及び沖縄に分布するマキ科の常緑針葉樹で、海岸近くの山地に自生し、雌雄異株で5~6月に雌雄それぞれの花を葉の脇に咲かせます。

⑪ 赤岩の川施餓鬼

町指定民俗文化財 赤岩利根川河畔(令和4年3月23日指定)

この川施餓鬼は、明治10年に赤岩に当時あったかぶと屋豆腐店で働いていた倉吉という男が、利根川に投網を打ちに行き水死したことによると、主人が光恩寺の住職と相談して倉吉の靈を供養したことが始まりとされています。

現在でも、水難事故者の供養として毎年8月18日に町内の宗派の枠を超えた僧侶による読経と灯篭流しが行われ、「千代田の祭」と位置づけもされております。

⑫ 光恩寺長屋門

国登録有形文化財

光恩寺長屋門は、嘉永4年に現在の埼玉県熊谷市俵瀬の名主荻野綾三郎の五女として生まれ、後の明治18年に日本公許女医第一号となった荻野吟子女史の生家の門です。

イヌマキは、南関東以西の本州、四国、九州及び沖縄に分布するマキ科の常緑針葉樹で、海岸近くの山地に自生し、雌雄異株で5~6月に雌雄それぞれの花を葉の脇に咲かせます。

千代田町教育委員会

土地を開発される方へ

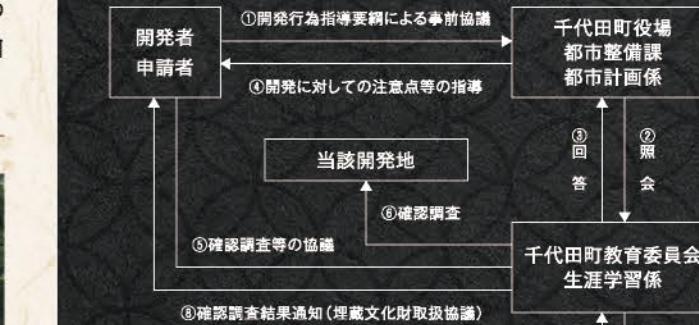
千代田町内で土地開発を行う場合、当該地が周知の埋蔵文化財包蔵地であれば、遺跡の有無を確認しなければなりません。

確認は、千代田町で費用を負担し当該地の確認調査を行い、調査の結果当該地に遺跡が認められた場合、文化財保護法の定めにより、開発に先立ちその記録を保存するための発掘調査(本調査)が必要となります。

但し、本調査に係る費用は原因者(開発者)の負担となりますのでご了承ください。

なお、当該地が周知の埋蔵文化財包蔵地に含まれているかどうかなど、事前にご確認いただく必要がありますので、開発を計画する段階でお早めに千代田町教育委員会生涯学習係へご相談ください。

連絡先 千代田町教育委員会 生涯学習係
TEL.0276-86-6311 FAX.0276-86-6336



千代田町教育委員会

T370-0598 群馬県邑楽郡千代田町赤岩1895-1
TEL.0276-86-2111

T370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩1701-1
生涯学習係(千代田町民プラザ内)
TEL.0276-86-6311 FAX.0276-86-6336



表紙写真提供：群馬県立歴史博物館

千代田町文化財めぐり

千代田町文化財一覧



No.	文化財名	所在地	備考
1	銅五種鈴 (通常非公開)	赤岩 光恩寺	国指定重要文化財
2	地蔵菩薩画像板碑	赤岩 光恩寺	県指定重要文化財
3	阿弥陀三尊像 (通常非公開)	赤岩 光恩寺	県指定重要文化財
4	寶林寺黄檗宗彫像群 (通常非公開)	新福寺 寶林寺	県指定重要文化財
5	東光寺 木像仁王像	木崎 東光寺	町指定重要文化財
6	寶林寺 梵鐘	新福寺 寶林寺	町指定重要文化財
7	光恩寺 梵鐘	赤岩 光恩寺	町指定重要文化財
8	白衣觀音図 (通常非公開)	新福寺 寶林寺	町指定重要文化財
9	潮音禪師肖像画 (通常非公開)	新福寺 寶林寺	町指定重要文化財
10	寶生寺 檜	瀬戸井 寶生寺	町指定天然記念物
11	赤岩の川施餓鬼	赤岩地内	町指定民俗文化財
12	光恩寺 長屋門	赤岩 光恩寺	国登録有形文化財
13	光恩寺 庫裡	赤岩 光恩寺	国登録有形文化財
14	光恩寺 客殿	赤岩 光恩寺	国登録有形文化財
15	光恩寺 石藏	赤岩 光恩寺	国登録有形文化財
16	堂山古墳	赤岩 光恩寺	指定外
17	米山薬師古墳	赤岩 安樂寺	指定外
18	舞木城址	舞木 16区	指定外
19	中島将監屋敷跡	舞木 14区	指定外
20	赤井照光の墓	赤岩 光恩寺	指定外
21	初代紫峰庵夫雪の墓碑	上中森 授業寺	指定外
22	弘安板碑	赤岩 観音堂	指定外
23	元応板碑	舞木 円福寺	指定外
24	建武板碑	舞木 大林寺	指定外
25	亀田鵬齋の碑	上五箇 愛宕神社	指定外
26	田山花袋の歌碑	赤岩 八幡神社	指定外
27	芭蕉句碑	萱野 白山神社	指定外
28	芭蕉句碑	上五箇 愛宕神社	指定外
29	亀田三先生の筆跡	上五箇 愛宕神社	
●	扁額「愛宕祠」鵬齋		指定外
●	扁額「伊勢太々御神楽」綾瀬		指定外
●	碑「夫雪翁誌碑」鷺谷		指定外
30	扁額「恒洛山」鵬齋 (通常非公開)	瀬戸井 寶生寺	指定外
31	石造馬頭觀音像	福島 金剛寺	指定外
32	赤岩の渡し	赤岩 1区	指定外
33	菩提樹	赤岩 光恩寺	指定外
34	扁額「不動尊」鵬齋 (通常非公開)	下中森 宝珠寺	指定外